

# すみた 議会だより



No. 179

令和4年  
10月14日



## 新型コロナ第7波独自支援

(9月議会のあらまし)

令和3年度決算

どう活かした 55億円

物価高騰対策などで論戦

(7人の議員が一般質問)

追跡レポート

旧国道(火石・大崎)改良整備

②

④

⑩

⑱

「笑顔でゴール! 大きなメダルをもらったよ!」

《有住保育園》 関連記事 20p

第24回定例会  
(9月議会)  
あらまし

# 令和3年度 決算議会

9月定例会は、9月6日から16日までの11日間の会期で開かれ、一般質問には7議員が登壇。学校給食や鳥獣被害対策などについて議論が交わされました。本会議では、条例の一部改正や令和4年度補正予算を審議し、原案のとおり可決。請願審査では、3件が不採択。1件が継続審査となりました。

令和3年度一般会計及び3特別会計の歳入歳出決算並びに2事業会計決算については、決算審査特別委員会を設置し、集中審査しました。(関連記事4～7ページ)

## 4年度一般会計補正予算

# 全世帯へ1万円給付

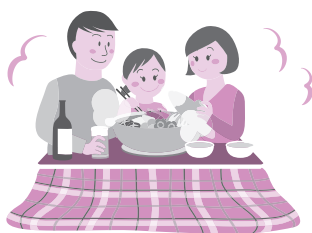
## 冬期の光熱費軽減

一般会計補正予算に「電気料金等物価高騰対応分給付金」2100万円を計上。

原油価格が高騰している影響により、電気料金や灯油代が値上がりしている現状を受け、本年度の冬期間における家庭の経済的負担軽減を図る。町内の全世帯に一律1万円を給付。

給付の開始時期や手続きなどについては町民生

活課において、現在協議を進め詳細内容の構築に取りかかっている。内容がまとまり次第、町民の皆様へ周知を図っていく予定となっている。



# 新型コロナ「第7波」など影響

## 農家や商工業者を独自支援

### 緊急経済対策支援金

### 経費上昇に5〜20万円支給

新型コロナや不安定な世界情勢、円安などによる物価高騰の影響が町内の事業者にも幅広く出ていることから、支援策として一般会計補正予算に「住田町原油価格・物価高騰緊急経済対策支援金」2500万円を計上。当支援金は、県が行う「物価高騰対策支援金」の対象要件緩和と対象を拡大する形で事業設計したもので、町内の農業生産者や商工業者を対象に仕入価格や施設維持管理費などの経費が一定の基準を超えて上昇した場合に事業者へ5万円〜20万円を支給する。該当する事業者へ積極的活用を呼びかけ、経営継続を支援していく。



△ コロナ禍に止まらず物価高の影響も広がりをみせる世田米商店街

#### 参考 岩手県物価高騰対策支援金

##### <支給対象者の基本要件>

- ① 中小企業であること
- ② 県内に本店登記を行っている法人、又は県内を納税地とする個人事業者であること
- ③ 令和4年4月から同年9月までの期間のうち、いずれか1か月の売上が過去3年間の同月比で50%以上減少、またはいずれかの連続する3か月の売上の合計が過去3年間の同期比で30%以上減少していること
- ④ 上記に該当する期間における主な材料や仕入品等の中に前年同月の単価と比較して10%以上価格上昇しているものがあること

#### 賛成討論

#### 事業者へ配慮

水野 正勝 議員

町独自経済対策すみチケ+は、他の自治体では類をみない支援規模であり、地域内経済の活性化に大きく寄与している。

住田町原油価格・物価高騰緊急経済対策支援金では、小規模事業者等への丁寧な配慮がなされた。事業者の経営継続に努めた町の姿勢を評価し賛成する。

## すみチケ 追加発行

新型コロナウィルス感染症の影響により、経済的な打撃を受けている町内事業者を支援するため、本年8月に発行された「使って応援住田チケツトすみチケ+」。想定した申込数を大きく上回り、追加発行のため682万円を一般会計補正予算へ盛り込む。追加後の予算総額と発行総数は、次のとおりとなる。

○4年度「すみチケ+」  
予算総額  
・ 8982万円  
チケツト発行総数  
・ 1万4878セット

## 新型コロナウイルス感染症対策など 民生費 11億円



### 財政を見るポイント

- 1. 財政力指数 0.18** (sad face icon)  
前年度から0.01ポイント悪化  
1.0を超えると財政力が高いことを表します。
- 2. 経常収支比率 79.8%** (happy face icon)  
前年度と比べ4.7ポイント低下  
人件費など毎年度かかる固定費の割合  
数値が高いほど経常的に使うお金が必要になります。
- 3. 実質公債比率 9.0%** (happy face icon)  
前年度から0.6ポイント改善  
一般会計が負担する借金返済額の割合  
数値が高いほどほかの財源に充てるお金が必要になります。
- 4. 将来負担比率 生じていない** (happy face icon)  
将来一般会計が負担する借金返済額の割合  
数値が高いほどほかの財源に充てるお金が必要になります。

財政の健全化を示す各種指標は、「財政健全化判断比率」の結果が示しているとおり、安定した健全財政を維持していることが認められる。  
令和3年度決算に基づく町財政の健全性に関する比率は、概ね良好である。

歳入の主なものは、地方交付税 29億1428万円、町債3億1753万円、町税5億979万円、国庫・県支出金11億7278万円となっています。自主財源19・43%（前年度18・69%）、依存財源80・57%（前年度81・31%）で、前年度に比べて自主財源比率は0・74ポイント上回っています。地方交付税の

歳入全体に占める割合は50・72%となっています。  
歳入の主なものは、民生費11億5475万円、総務費9億7090万円、教育費4億6738万円、公債費7億2309万円、衛生費4億5704万円などです。

### 自主財源比率増

### 差引額3億2547万円

### 基金の積立状況 令和4年5月31日現在

基金名	基金現在高
財政調整基金	24億3826万円
住田町減債基金	8億8002万円
地域活性化基金	5055万円
福祉基金	1億8997万円
産業振興基金	1500万円
ふるさと住田水と土保全基金	1026万円
教育振興基金	3485万円
町営住宅整備基金	3439万円
国保財政調整基金	6076万円
介護給付費準備基金	9862万円
国保高額療養資金貸付基金	300万円
福祉医療資金貸付基金	200万円
岩手県収入証紙基金	500万円
住田町地域情報通信基盤施設整備基金	7億9036万円
住田町まちづくり応援基金	6765万円
東日本大震災復興基金	2億428万円
住田町ふるさとの森林づくり基金	5227万円
畜産振興基金	991万円

### 令和3年度各会計決算

会計区分	収入済額	支出済額	差引額		
一般会計	57億4547万円	55億1907万円	2億2640万円		
特別会計	国民健康保険	7億3744万円	6億6872万円	6872万円	
	介護保険	保険	9億9707万円	9億6784万円	2923万円
		介護サービス	281万円	222万円	59万円
	後期高齢者医療	7387万円	7334万円	53万円	
	小計	18億1119万円	17億1212万円	9907万円	
合計	75億5666万円	72億3119万円	3億2547万円		

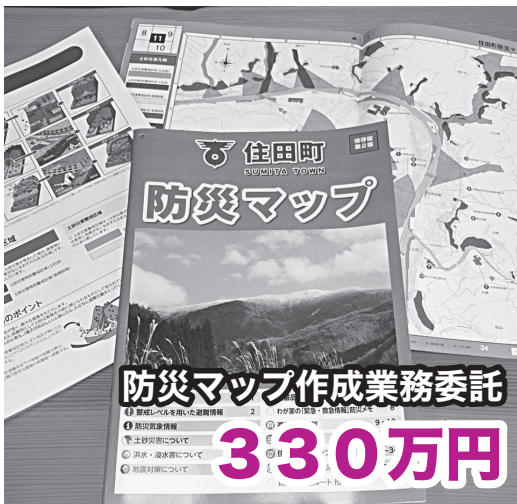
会計区分	収入済額	支出済額	差引額	
簡易水道事業会計	収益的収入・支出	1億7835万円	1億4420万円	3415万円
	資本的収入・支出	9626万円	1億1672万円	▲2046万円
下水道事業会計	収益的収入・支出	1億6037万円	1億4438万円	1599万円
	資本的収入・支出	3388万円	3668万円	▲280万円

# 決算ピックアップ

決算審査特別委員会



畜産競争力強化整備事業費補助金  
**4億1899万円**



防災マップ作成業務委託  
**330万円**



新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業  
新型コロナウイルスワクチン接種対策事業  
**5944万円**



高齢者生活福祉センター施設改修工事  
**1980万円**



健康教育事業  
**47万円**

# 令和3年度 一般会計 歳入歳出ほか 5会計を認定

令和3年度の一般会計及び3特別会計（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）並びに2事業会計（簡易水道・下水道）の決算は、決算審査特別委員会（阿部祐一委員長）に付託し審議。

町政全般にわたり質疑を行い、すべて原案のとおり認定、可決しました。

ここまで審議した多くの質疑の中から各委員1項目を掲載します。

## 決算審査特別委員会

## 事業目的が達せられたか

## 議員が注目したのはここ

### ふるさと納税に期待



水野正勝委員

**Q** 本町の歳入に占める自主財源比率は19・43%である。将来も町として存在していくためには、持続可能な自立ある行財政運営が必要である。自主財源確保の方策は。

**A** 指定寄付金が前年度比2690万円の増で、ふるさと納税が伸びている。今後、企業版ふるさと納税の成果に期待する。

### 訪問看護事業の課題



荻原 勝委員

**Q** 医療資源の少ない本町にとって、「訪問看護ステーションすみちゃん」事業は町民に安心を与えている。今後の課題は。

**A** 訪問看護には、医師の指示書が必要で、町外の開業医と連携している。利用実績を増やすためには、医師との連携が重要。町内の医療機関との体制構築が課題である。

### 新型コロナ対応増額



佐々木信一委員

**Q** 保健衛生費が前年度比6183万円（23・06%）の増となっているが、その要因は何か。

**A** 新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、ワクチン接種業務や健康管理システム改修委託料などが主な要因。今後も新型コロナウイルスワクチン接種のために必要な体制を確保していく。

## 決算審査意見書

決算審査にあたっては、住民の福祉増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をあげることを基本的な視点として審査を進めた。

令和3年度決算審査における特徴的な点は次のとおりである。

- 1. 債権管理体制の徹底**  
債権管理は、徴収担当課を中心に、各課連携により、適切な債権管理を図りたい。
- 2. 公共施設の整備及び維持管理**  
公共施設は、長寿命化など適切な維持管理のため個別計画を策定。適切かつ効果的な町有施設の利用を図りたい。

- 3. 予算の適正な執行と健全な財政運営**  
当町の財政状況は、財政基盤の脆弱性は否めない。起債償還計画と合わせ、適切な財政運営に努められたい。
- 4. 職員の働き方**  
関係規則及び様式等を点検し必要に応じて改善を図り適切な運用を図られたい。
- 5. 自治体DX**  
令和7年度までに自治体情報のシステムの標準化・共通化、行政手続きのオンライン化などのデジタル化を整備することになる。計画的な財源確保に努められたい。

## 創意工夫で積極的施策



代表監査委員  
紺野 仁

# 決算審査



財政・医療・鳥獣害・新型コロナ対策…。

## 決算審査特別委員会



△ 取り扱っている返礼品。  
このほか、鶏肉のセットなどもある



△ 松枯れの原因となるマツノマダラカミキリムシ（提供：森林総合研究所東北支所）



△ 群れを成して出没しているサル。  
その被害は年々増加している

### 公文書管理は適切に



佐々木春一委員

**Q** 機密書類処理委託料が計上されているが、公文書や個人情報情報は適正に管理されているか。

**A** 保存期限が経過している公文書など個人情報に関する書類は、漏洩のないように処理している。公文書・個人情報に関する書類の管理は、規程に基づき適切に行われている。

### 基金運用は効率的に



村上 薫委員

**Q** 特定の目的（事業）のために積み立て、または準備している基金。家計における「貯金」にあたるが、その運用は。

**A** 各基金は、その目的のために必要が生じたときは取り崩すが、それまでは預金や債券で資金運用を行っている。安全かつ効率的な保管、運用に努めている。

### 松くい虫の駆除対策



阿部祐一委員

**Q** 森林病虫害等駆除委託費として844万円執行されている。松くい虫被害防止対策は。

**A** 町内で確認された松くい虫被害木は190本。最先端地域として、県補助金を受け、森林組合に依頼し、確認された被害木の伐倒・燻蒸処理を行うことで被害の拡大防止に努めている。

### サルの有害捕獲体制



林崎幸正委員

**Q** サルの出没が町内に広く分布し、農業被害が増加している。有害捕獲を検討していくべきと考えるが。

**A** サルの捕獲には、保護管理計画を作成する必要がある、駆除頭数を申請管理しなければならぬ。難しい面もあるが、引き続き岩手県に対し、要望活動を行っていく。

### 委員長報告

#### 新型コロナ対応評価

決算審査特別委員会

委員長 阿部祐一

神田町政が掲げる「医・食・住」の充実を柱とした新たな町総合計画の2年目。計画された予算が、その趣旨と目的に沿い適切・効果的に執行され、どのような成果が発揮されたか、町民福祉の向上が図られたかを観点に審議を行いました。

医療環境の充実、農林業の振興、移住定住の促進、子育て・教育環境の充実をはじめ、主な事業として、新型コロナ対策の「使って応援すみたチケツト事業」、「子育て世帯への臨時特別給付金」、「住田高校魅力化事業」など、新型コロナウィルス感染症拡大の影響を受けた町民、事業者の経済対策、子育て世帯への支援を評価し、いずれの決算も賛成多数で認定と決定しました。

# 県支援に1万5000円上乗せ 児童1人計3万円支給



△ 児童生徒の笑顔を守るため、子育て世帯への幅広い独自支援を実施する

物価高騰の影響を受けている子育て世帯の負担を軽減するため、「子育て世帯臨時特別支援金」を給付する。県支出金と一般財源を合わせた1500万円を今年度一般会計補正予算に計上。県が児童手当受給世帯を対象に、児童1人当た

り1万5000円を支援する「いわて子育て世帯臨時特別支援金給付事業費補助」に町が1万5000円を上乗せし、計3万円を支給する。町独自策では、高校生までを給付対象とし、手厚く支援を行っていく。

子育て世帯臨時特別支援金  
高校生まで対象

## 第24回 住田町議会定例会（9月議会） 提出議案・認定一覧

- 議案第1号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第2号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第3号 住田町税条例等の一部を改正する条例
- 議案第4号 住田町定住促進空き家活用住宅の管理運営に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第5号 令和4年度住田町一般会計補正予算（関連記事P2～P3、P8）
- 議案第6号 令和4年度住田町国民健康保険特別会計補正予算
- 議案第7号 令和4年度住田町介護保険特別会計補正予算
- 議案第8号 令和4年度住田町後期高齢者医療特別会計補正予算
- 議案第9号 令和4年度住田町簡易水道事業会計補正予算
- 議案第10号 令和4年度住田町下水道事業会計補正予算

- 議案第11号 令和4年度住田町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- 認定第1号 令和3年度住田町一般会計歳入歳出決算の認定について（関連記事P4～P7）
- 認定第2号 令和3年度住田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について（関連記事P4）
- 認定第3号 令和3年度住田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について（関連記事P4）
- 認定第4号 令和3年度住田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について（関連記事P4）
- 認定第5号 令和3年度住田町簡易水道事業会計決算の認定について（関連記事P4）
- 認定第6号 令和3年度住田町下水道事業会計決算の認定について（関連記事P4）



請願審査のゆくえ	令和4年度請願第3号	5～11歳への新型コロナワクチン接種の「努力義務」規定の撤回と子どもたち、若者たちへの新型コロナワクチン接種の即時中止を国へ求める意見書提出の請願
	令和4年度請願第4号	新型コロナウイルス感染症の指定感染症等への指定解除を国へ求める意見書提出の請願
	令和4年度請願第5号	新型コロナワクチン接種時のインフォームド・コンセントのガイドライン策定に関する請願
	請願者の氏名・団体・住所	佐々木 公一 すみたの子どもたちの未来を守る会 住田町上有住字中沢70-1
	紹介議員	水野 正勝
	付託常任委員会	総務教民常任委員会（委員長 高橋 靖）
	委員会審査の結果	すべて不採択と決定
	本会議での採決	賛成少数ですべて不採択と決定
	令和4年度請願第6号	町道清水沢只越線の改良舗装工事と林道只越線の町道認定と改良舗装工事について
	請願者の氏名・住所	柏崎 遵 住田町上有住字大畑67-7
	紹介議員	佐々木 信一、高橋 靖
	付託常任委員会	産業経済常任委員会（委員長 阿部 祐一）
	委員会審査の結果	閉会中の継続審査とする

賛否が分かれた認定・請願 採決状況一覧 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席  
議長は採決に加わりません

認定・請願	水野 正勝	荻原 勝	佐々木 初雄	佐々木 信一	佐々木 春一	村上 薫	阿部 祐一	林崎 幸正	菊池 孝	高橋 靖	菅野 浩正	瀧本 正徳	採決結果
認定第1号 令和3年度住田町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	—	認定
請願第3号 5～11歳への新型コロナワクチン接種の「努力義務」規定の撤回と子どもたち、若者たちへの新型コロナワクチン接種の即時中止を国へ求める意見書提出の請願	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	不採択
請願第4号 新型コロナウイルス感染症の指定感染症等への指定解除を国へ求める意見書提出の請願	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	不採択
請願第5号 新型コロナワクチン接種時のインフォームド・コンセントのガイドライン策定に関する請願	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	不採択

# 一般質問

# 町の考えを問う

## 教育環境・消防 物価高騰対策などで論戦

### 7人の議員が質問

ページ	質問者 (登壇順)	質問項目
11	ささきはるか 佐々木春一	① 産業道路の改良整備 ② 高齢者の補聴器購入費の助成 ③ 小中学校の給食費の無償化
12	はやしざき さちまさ 林崎 幸正	① 町長、副町長のネットワークの町づくりへの活用 ② 町外居住職員の緊急時の招集
13	むらかみ かおる 村上 薫	① 総合計画中間点の見直し ② 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール） ③ 消防団員の処遇改善
14	おぎわら まさる 萩原 勝	① 地域情報通信基盤整備事業の維持管理 ② 小学校統合の方向性
15	みずの まさかつ 水野 正勝	① 新型コロナウイルス感染症対策 ② 国際情勢を捉えた今後の農業政策
16	ささきしんいち 佐々木信一	① 生産資材高騰下における対策と地域資源の活用 ② 鳥獣被害対策 ③ 産業振興と仕事政策
17	あべ ゆういち 阿部 祐一	① 肥料・飼料・燃料費などの資材価格高騰対策 ② 消防団活動

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり、施行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。質問の方法は、1回目は一括して質問しますが、2回目以降は1問ずつ質問する1問1答方式を採用しています。持ち時間は、答弁を含めて60分です。

全文記録（議事録）は、11月中旬から役場庁舎2階の総務課と町のホームページ上で閲覧できます。  
(QRコードからのご利用もできます)



# 問 補聴器購入助成を

## 答 難聴は重要な問題

**問** 加齢による難聴の問題をどのように受け止めているか。

**答** 町長

町内の難聴者数は約760人と推定される。難聴は、本人だけの問題でなく、「社会からの孤立・疎外」という問題が起きる恐れがある。

**問** 難聴レベルの区分と補聴器購入の公的支援の状況は。

**答** 町長



ささきはるかす 議員  
佐々木春一

町の考えを問う

「聞こえは人権問題で、情報をえられることは大切」難聴の切実な声が寄せられています

議員のつぶやき

補聴器購入の公的支援は、障害者総合支援法により、両耳の聴力レベルが70デシベル以上の高度難聴レベルの方が補助を受けられ、軽度・中等度の難聴の方は補助を受けることができない。

**問** 補聴器を必要とする対象者をどのように受け止めているか。

**答** 町長

補聴器は、管理医療機器であることから耳鼻科

の受診が必要であり、医師の判断により、軽度・中等度の難聴の方でも、補聴器の必要な方がいる。

**問** 補聴器の購入費用は、高額な買い物であり、大きな負担となっている。町独自の助成制度を。

**答** 町長

補聴器は、大変高額なものとして認識している。県内の自治体では、独自の助成制度を設けているところもあり、状況を把握し検討を進めたい。

# 問 給食費を無償化に

## 答 食材費の負担継続



△ 食育という教育を行うのに必要不可欠な学校給食。本来、国の責任で無償化することが望ましい

**問** 令和2年度に国からの新型コロナウイルスの臨時交付金を活用して町内小中学校で給食費の無償化が図られた。引き続き町独自で完全無償化を実現できないか。

**答** 教育長

無償化は経済的負担の軽減、子育てに対する町の姿勢を示す手段の一つとして有効であるとは考えているが、自らの子どもを健やかに成長させることは保護者の責務であることから、食材費については引き続きご負担いただきたいと考える。

## 畜産関連道路の改良整備は

**問** 農畜産業の生産拡大と雇用の創出で養豚やブライラーの農場が建設されたが、農場に通じる道路の路面未改良が見られるが改良整備の見通しは。

**答** 町長

農場と連絡を取りながら、飼料配送や出荷など通行に支障が出ないような道路維持や補修に努めている。安定的な生産活動のために、開発計画の中で慎重に検討していきたい。

# 問 どう活かすネットワーク

## 答 首都圏中心に企業訪問

民間での経験を経て、現在に至る。そのネットワークを活かして耕畜連携や地域産物の販路拡大などの産業振興に努め、首都圏などを中心に企業訪問などを行ってきた。加えて、出身大学の卒業生や様々な関わりの中で関係が生まれた方々などのネットワークも活用しながら、観光や交流人口、医療、教育分野などの情報収集に努めてきた。



△ さらなる情報交換や新たな交流に期待が寄せられている「ふるさと住田会」

**問** 町長、副町長のネットワークを産業振興や交流人口拡大に活かすべきと考える。これまでどのように活用し、今後どう施策に活かしていくか。

**答** 町長

副町長においては、私が首都圏を中心にネットワーク活動を行っている傍らで、職員時代から築いてきた方々とのネットワークを活かし、町の施策や事業展開への情報提供を私や職員に対して繰り返し行ってきているものと捉えている。



はやし ぎき 林崎 さちまさ 幸正 議員

住田町を活性化するためには、町外とのさらなるネットワークづくりが必要だ

議員のつぶやき

町の考えを問う

**問** ネットワークの一つである「ふるさと住田会」は、町の活性化にどのように役立っているか。

**答** 町長

ふるさと住田会は、郷土愛に基づき会員相互の親睦を図ると共に町の発展に寄与することを目的に昭和62年設立。同会は首都圏在住の「郷土を愛する仲間」と情報交換や親睦会を通じて、本町の産業振興へのヒントを得るなどネットワークを構築してきた。同会員の方々には日頃からふるさと納税や郷土物産店への参加などを通じて町の活性化に関わりを頂いている。

## 問 緊急時町外職員は

## 答 状況に応じて工夫

**問** 町外居住職員の人数や割合などの実態はどのようなものか。

**答** 町長

令和4年4月1日現在職員数105名に対し、町外居住職員は29名で割合は27.6%となっている。町外居住職員の居住地域は、大船渡市、陸前高田市、遠野市、奥州市、花巻市である。

**問** 町外居住職員において、災害などの緊急時の業務に支障はないのか。

**答** 町長

緊急時の参集については、災害レベル毎に職員の参集範囲を地域防災計画に定め、災害規模に応じて順次職員数を配置することとしている。

**問** 緊急招集訓練等は実施しているのか。

**答** 町長

本町においては、緊急参集訓練という参集のみで特化した訓練ではなく、町の総合防災訓練時に、災害対策本部設置訓練として実施している。

避難所運営では、毎年度当初に職員配置を決め、有事に即対応できるように避難所近隣の町内居住職員を主とした配置に努めている。町外居住者を配置する場合は、気仙管内の居住職員を世田米地区に配置するなど早急に参集できる工夫をしている。今後も平時から確認を徹底し、様々な工夫を行いながら取り組みを進める。

# 問 進んでいるかデジタル変革

## 答 計画策定委員会で検討中

**問** デジタル変革(DX)への対応と行程計画は。

**答** 町長 現在DX計画策定委員会を立ち上げ進めている。

**問** 当町で進めるDXの内容は。

**答** 町長 ①自治体業務に係るシステムの標準化・共通化 ②行政手続きのオンライン化 ③本町が独自に進めるDX、の3つに分類される。

**問** 町民がデジタル化の利便性を享受できる行政手続きのオンライン化

は、いつから可能か。

**答** 町長

子育て関係・介護関係など27手続きを今年度中に整備する。

**問** DX重要業績評価指標(KPI)の設定は。

**答** 町長

DX推進計画策定後、実行計画策定の中でKPIの設定をしていく。

**問** 北上山地「ILC実現」は、いよいよ正念場を迎えている。「グリーンILC」講演会開催など具体的な行動が必要と考えるが。

**答** 町長

ILC実現がもたらす影響は、多大なものがある。当町にとつても持続可能なまちづくりの柱となりうる多様な波及効果が期待される。県・関係自治体・各種団体と連携し取り組んで行く。

町民のデジタル変革は、楽しんでスマホを使うことから

議員のつぶやき



むらかみ 村上 かおる 議員

町の考えを問う

# 問 消防団員の処遇改善を

## 答 改正通知に基づいて



△ 消防団の活動拠点となる消防屯所

**問** 消防庁は令和3年4月13日、消防団員の処遇改善等を全国に要請しているが、その内容は。

**答** 町長

消防庁の通知内容は、年額報酬36500円、出勤報酬1日当たり8000円を標準とし、報酬等は団員個人に対し直接支給することが主となる。

**問** 当町ではいつ、どのような改正を行う考えか。

**答** 町長

改正時期は、来年度の予算編成に併せて進めたい。団員への直接払いは本年度からの実施を予定。

# 学校運営協議会

**問** 学校運営協議会の主な役割は。

**答** 教育長

①校長が作成する学校運営の基本方針の承認を行う ②学校運営について、教育委員会、校長に意見を述べる ③教職員

## 学校運営協議会とは

コミュニティ・スクールとも言う。学校と保護者や地域が共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組み。

# 問 光ケーブルの保守管理を

## 答 今秋にも支障木を除去

**問** 使用料の見直しは。  
**答** 町長 使用料は、人口が減少しても加入者数がほぼ変わらないため、ここ数年は総額2800万円程度で推移している。使用料の見直しは、消費税改正

**問** 地域情報通信基盤整備事業の現在までの事業評価は。  
**答** 町長 テレビ難視聴地域の解消、光ブロードバンドサービスの提供、各世帯への防災告知端末機設置による行政情報・防災情報の確実な伝達、携帯電話の不感地域の解消など、住民サービスに大きく寄与してきたと評価する。

**問** 設置から10年を経る光ケーブル網は、電線に比べ低層に延びており、樹木の枝が絡まっている箇所がある。樹木の切除などで適切な保守管理を。  
**答** 町長 光ケーブルは、電力柱、NTT柱、町有柱に架設されている。指摘の箇所は承知している。町有柱の分は現在、定期点検をし、取りまとめをしていく。葉が落ちる秋頃に伐採等を予定している。それ以外では、事業者に早期対応を依頼している。

分の上乗せや昨今の新型コロナウイルス感染症の影響などを考慮し、現段階では考えていない。

**問** 町内小学校の複式学級の現状はどうか。  
**答** 教育長 小学校では、1学級当たりの児童数が、1年生を含む場合は8人、1年生以外は16人までの場合、連続する2学年で複式学級となる。世田米小は、令和10年度まで複式学級を編成する見直しはない。有住小は、現在2・3年生で複式学級を編成しており、令和5年度も1学級、令和6年度以降は2学級ずつ編成する見直しである。当町の複式学級では、学級担任に加え、専属的に学習面などを補佐する教員免許のある支援員を町単独で配置し、複式学級の課題に対応している。

**問** 中学校の統合は現在、統合推進協議会で協議されている。小学校の統合についてはどう進める。  
**答** 教育長 小学校についても保護者や地域の方々のご意見をお聞きし、議会にも随時報告しながら検討を進めて行きたい。



△ 中学校統合の時期や形式、校舎、学校名などが話し合われている「統合推進協議会」

**問** 統合の課題である児童の通学距離や時間などをどう考えているか。  
**答** 教育長 通学の距離や時間は、学校の設置場所や児童数で変動する。通学手段はさまざまだが、安全・安心に通学できる環境の整備こそが重要である。



おぎわら 荻原 まさる 議員 勝

台風や大雨の時こそ必要な防災情報。光ケーブル網や住田テレビは大切な社会インフラ

議員のつぶやき

町の考えを問う

# 問 複式学級への対応は

## 答 町単独で支援員を配置

# 問 どう評価する感染症対策

## 答 基本対策徹底で感染爆発防止

**問** 町内における新型コロナウイルスの発生状況をどう捉え、これまでの感染症対策をどう評価しているか。

**答** 町長

9月4日現在、町の感染者数は183人と公表。感染は高止まりしているものの、いまだ収束の見込みは見えていないが、町民の皆様は日頃から基本対策を徹底して頂いていることで爆発的な感染拡大は防げている。

引き続き場面に応じた感染症対策を徹底していただくようご協力をお願いしたい。

**問** 新型コロナウイルスによる副作用や後遺症疑いの現状はどうか。

**答** 町長

新型コロナウイルス接種後に生じる副反応を疑う事例について厚生労働省の報告によると、令和4年7月10日までにおい

て副反応疑いの報告件数は3万4394件。頻度は0.0119%となっている。本町の現状については、公表はされておらず返答しかねる。町民の多くからは、注射した部分の痛みや発熱など副反応の話は聞いている

が、長期間続いているというような話は聞いていない。



まさかつ 正勝 議員  
みずの 水野

コロナが終息している国とそうでない日本との違いは何なのか、考えなければならないと思います

議員のつぶやき

町の考えを問う

# 問 接種に対する町の姿勢は

## 答 希望者がいる限り体制整備

**問** 厚生労働省の人口動態調査によると、昨年来、全国的に死亡者数が増加傾向となっている。本町の状況はどうか。

**答** 町長

令和3年の死亡者数は令和2年より6万7745人が増加。令和2年は11年ぶりに減少に転じていたものの、2年ぶりの増加となっている。

主な死因は悪性新生物、続いて心疾患、老衰の順となる。本町における死亡者数は、令和元年113人、令和2年104人、令和3年127人となっている。

**問** オミクロン株変異体対応と言われる2価ワクチンの接種が今後予定されている。接種に対する町の姿勢はどうか。

**答** 町長

関係機関と協議を重ねスムーズな接種体制の整備をしていきたい。新型コロナウイルス接種については、予防接種法の規定において特例的な臨時接種に係る国、地方自治体の事務とされており、接種したい方がいる限り接種できる体制を整えていくべきものと考えている。

※その他の質問

・今後の農業政策



△ 令和4年9月20日、オミクロン株対応の新ワクチンに係る集団接種が開始（東京都港区）

# 問 どう対応肥料価格高騰

## 答 化学肥料の低減に補助金

**問** 輸入原料に依存する肥料の価格高騰は、農家の経営に打撃を与えている。今後どのように対応していく考えか。

**答** 町長 国では、化学肥料原料の国際価格が大幅に上昇していることから、農業経営への影響緩和のため、化学肥料の2割低減に取り組み農業者に対し、肥料コスト上昇分の7割を支援していく。対象は令和4年秋肥から令和5年春肥として購入した肥料で、前年からの増加額を算定し補填。町では、農業者への情報提供や申請支援をしていく。

**問** 畜産農家では、配合飼料の価格高騰により経営がひっ迫している状況にある。畜産農家への負担軽減をどう図るか。

**答** 町長 農林水産省が公表している農業生産資材価格指数では、令和2年を100とした場合、直近値は119.2であり、上昇傾向にある。本町でも同様の影響が出ているものと捉えている。今回、一般会計補正予算案に計上した「住田町原油価格・物価高騰緊急経済対策支援金」を活用し、今後の事業継続に取り組みんでいきたい。

**問** 町内の家畜排せつ物を活用した有機栽培が期待される。良質な有機質肥料の生産と利用促進を図るべきと考えるが。

**答** 町長 本町では、畜産の生産の拡大と多くの飼料が海外から調達されている現状を受け、耕畜連携による循環型農業を推進している。昨年度は発酵鶏ふんペレットが製造できる堆肥センターが町内に完成。今年度からチキンクラスター協議会が主体となり飼料用作物耕畜連携実証試験事業に取り組んでいる。現在は、大船渡農業改良普及センターの協力のもと土壌診断や施肥設計に取り組み、子実トウモロコシと飼料用米の秋肥施用実証試験を実施し、令和5年度に収穫量の検証を予定している。今後も、耕畜連携による地域内循環を図られるよう取り組みを進めていく。



△ 鳥獣被害から農作物を守るために設置されている防護網

**問** サルによる農業被害や熊の人的被害が深刻であるが、対策はどうか。

**答** 町長 住田町鳥獣害防止総合対策協議会が主体となつて、被害防止対策に取り組んでいる。町としては集落が主体となり、対策に取り組む集落農林業振興会の活動を引き続き支援してまいりたい。

**問** 半導体関係の企業誘致が有効と考えるが。

**答** 町長 誘致には、企業ニーズとのマッチングが不可欠と考える。引き続き岩手県企業誘致推進委員会などからの情報収集に努め、誘致活動を推進したい。

### 企業誘致推進

## 問 サルや熊の対策は

## 答 振興会活動を支援



さ さ き しんいち 議員  
佐々木信一

資材高騰で農業経営が大変。農家への支援を図るべき

議員のつぶやき

町の考えを問う



# 問 事業者向け支援を

## 答 町独自経済対策支援金で

**問** 燃料や物価が大幅に高騰し、商工業者では事業経営に大きな支障が出ている。この現状をどう捉えているか。

**答** 町長

日本銀行が毎月公表している企業物価指数では、令和2年を100とする、7月の速報値では114.5と17カ月連続で前年同期を上回っており、原材料価格の高騰や円安による輸入価格の

上昇を反映し、物価高騰が続いている。町としては、新型コロナウイルスやウクライナ情勢の悪化、円安等を背景とした物価高騰の影響は、様々な事業者に幅広く出ているものと捉えている。

**問** 岩手県が実施している中小事業者向けの「物価高騰対策支援金」の制度があるが、50%以上の収入減少が対象要件にな

るなど条件が厳しいことから、町内事業者に合った支援制度が必要と考えるがどうか。

**答** 町長

町の支援策として「物価高騰対策支援金」の要件緩和や対象拡大を行い、独自の経済対策支援金を立案した。町内の商業者や農業者を支給対象とし、収入減少の要件も設けない。多くの事業者に活用いただきたい。



あべ ゆういち  
阿部 祐一 議員

住田の経済を支えている  
中小事業者への経営  
支援を図るべきだ

議員のつぶやき

町の考えを問う

# 問 個人振込で分団運営は

## 答 各分団へ必要経費を補助

**問** 国の方針により消防団員報酬が個人口座に振り込まれることとなる。分団や部の活動に支障はないのか。

**答** 町長

消防団と必要経費について協議を行い本年度当初予算において、消防団運営補助金を創設。内訳は、本部・女性消防団及び各分団の8団体に運営経費を支給。本部・女性消防団・各分団及び各部の26団体に光熱費・消耗品費を毎年交付する。各分団や各部の運営に支障が生じないように努めていく。

**問** 年々団員の減少が進み、分団体制維持が気がかりであるが、分団体制の現状をどう捉えているのか。

**答** 町長

団員は減少傾向となっており、本年4月は330名が在籍。消防団では、以前より組織再編の協議を進める予定としていたもののコロナ禍の中で協議が進んでいない。町としては、消防団による再編協議結果の意見を尊重しつつ、組織再編を検討する必要があるものと捉えている。



△ 住民の暮らしを守る消防団活動

# 追跡レポート⑦⑦ 一般質問その後 どうなりました

# あの提言

## 大崎～火石間の 改良は

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

### 質問

#### 歩道をなくして フラットに

国道340号改良に伴い、残される現道大崎～火石間は、路面のデコボコや段差がある。町道に返還される前にどう整備されるのか。

### 答弁

#### 県と協議し 整備を推進

測量調査終了後は、住民の意向を聞き、県と町で歩道を含めた区間の整備を協議しながら進める。

その後

#### 段差解消 通行スムーズに



△ 歩道の縁石が撤去され、段差が解消されたことにより、快適な通行が可能となった

住民の声



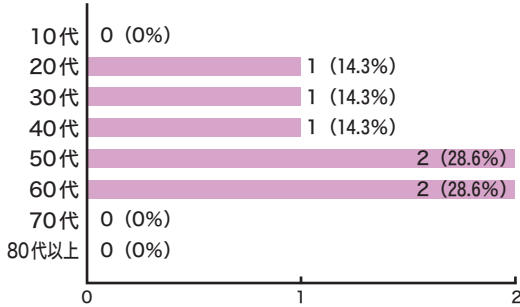
よこさわ ひろみち  
横澤 弘道 さん  
世田米字火石

車の出入りが良くなり歩きやすくなった。大雨時の排水も非常に良くなり感謝している。

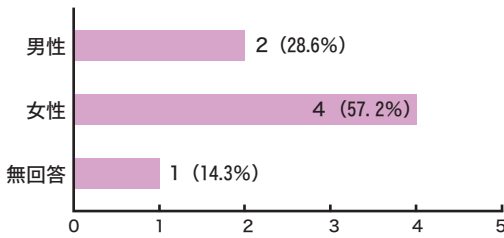
# 貴重なご意見ありがとうございました

議会広報編集常任委員会では、より良い広報活動を目指して、議会だより178号（令和4年7月15日発行）の紙上で議会だよりに関するご意見やご要望などのアンケートを実施したところ貴重なご回答をいただきましたのでご紹介いたします。

## Q1 年齢を教えてください。



## Q2 性別を教えてください。

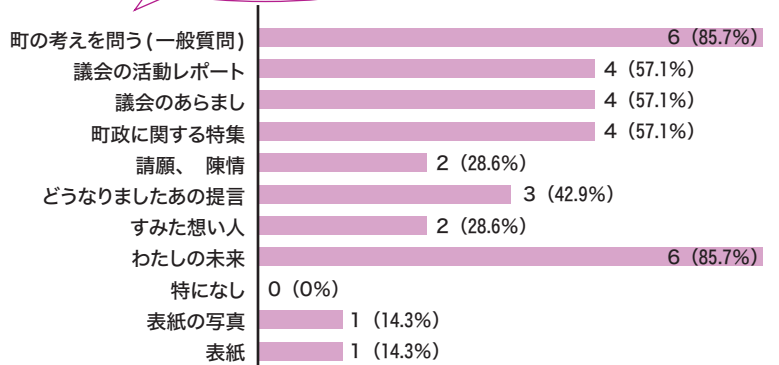


## Q3 議会だよりの内容はわかりやすいですか。

わかりやすい 7 (100%)

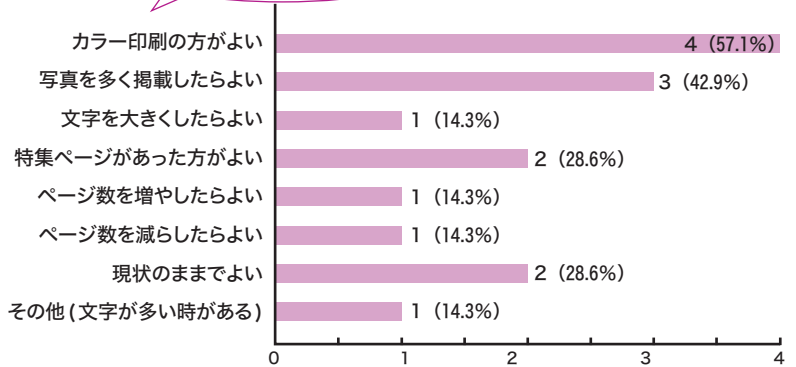
## Q4 議会だよりのどのような記事に関心がありますか。（複数回答可）

### 一般質問に関心



## Q5 改善した方がいいと思う点がありますか。（複数回答可）

### 全ページカラーに



## Q6 議会だよりに対するご意見等がありましたら、ご記入ください。

- 人物紹介の写真ですが、もう少し表情が柔らかいと、もっとステキな議会だよりになると思います。
- どのような議員がいるのか、議員がなにをやっているのかもよくわからないので、そういう特集をしてほしい。議員の紹介ページをつくるとか。内容が分かりにくい文章もあるので、もっと町民が分かりやすい文章にしてほしい。
- 表紙の写真が好きで楽しみにしています。癒されます。いつか、自分の子どもも撮って表紙に載せてほしい。
- 読み応えのある広報だと思います。町の考えを問うをもう少し簡潔にまとめてくれたほうが見やすいと思います。

今後とも住田町議会へお気軽にご意見をお寄せいただければと思います。引き続きご協力よろしく申し上げます。

## 議会を傍聴しよう!

町議会は誰でも傍聴できます。次の12月議会の予定は下表のとおり。

生活改善センター議会棟の入口から案内に従って傍聴席へお入りください。

令和4年9月議会の傍聴者は12人でした



### 12月議会は

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



パート  
11

# わたしの未来

住田町の子どもたちが  
将来の夢を語る

コーナーです。

自薦・他薦も大歓迎。申し  
込みをお待ちしています。

## 水泳の世界へ

ぼくの夢は、将来**水泳選手になること**です。今はマックの水泳教室で、背泳ぎを練習しています。バタ足が難しくなかなか前に進みませんが、あきらめないでチャレンジしていきます。この経験を活かし、オリンピックに出場してメダルを取りたいと思っています。



世田米小学校6年  
のろ なおき  
野呂 直樹  
(世田米字田畑)

## 未来を良くしたい

今、マンガに夢中で、トリコや東京グール、東京リベンジャーズ、ナルトを読んでいます。ストーリーがおもしろいです。勉強では、理科が好き。観察や研究ができるからです。将来は**先生になって**、自分が教える子どもたちの未来を良くしたいと考えるからです。



有住小学校6年  
のおの いちか  
小野 一花  
(上有住字八日町)

## 編集後記

広報編集常任委員会  
委員 荻原 勝

- ▼ 収穫の秋を迎えています。出来栄はいかがですか。
- ▼ 新型コロナウイルス感染症の影響や、世界的な物価高騰の大波が当町にも押し寄せています。9月議会では、その対策として、経済支援金や給付金の審議をしました。
- ▼ 前号の新企画「あなたの声を聞かせて」宛に、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。今後とも「議会だより」に自由闊達なご意見をお寄せいただければ幸いです。

## 表紙の写真



有住保育園



さわやかな秋晴れとなったこの日。有住保育園では運動会が開かれました。1、2歳児の子どもたちは、緊張しながら最後までゴールを目指し、見事ゲットしたお宝メダルを、お父さんお母さんに嬉しそうに見せていました。4、5歳児の子どもたちは、大きなバルーン遊戯に挑戦。鮮やかなバルーンが大きな気球のように青空に広がり、会場からはたくさんの拍手が送られていました。

## 広報編集常任委員会

発行責任者

議長	瀧本 正徳
委員長	佐々木 信一
副委員長	水野 正勝
委員	菅野 浩正
	阿部 祐一
	佐々木 春一
	荻原 勝

